



総選挙・比例東海で佐々木憲昭さんの議席を維持 「消費税増税の中止、即時原発ゼロ、憲法9条守る」公約実現に全力をあげます

ご支援ご協力に心から感謝いたします

衆議院議員選挙で日本共産党は改選9議席から8議席への後退となりました。比例東海ブロックでは、佐々木憲昭さんの貴重な議席を守りましたが、目標の2議席には届きませんでした。江南市では、小選挙区いたくら正文候補3,507票、比例代表は3,189票を獲得しました。

日本共産党の躍進を願い、厳しい寒さの中ご支援ご協力をいただいた皆様、貴重な募金をお寄せいただいた支持者、後援会の皆様に心から感謝申し上げます。

自民は得票4割で議席8割

自民党の圧勝となりましたが、不公正な小選挙区制度に助けられたもので、自民党への支持が広がったためではありません。特に安倍総裁が掲げる「消費税増税、金融緩和と公共事業バラマキのデフレ不況対策」は経済危機をいっそう深め、「憲法改悪」は、平和を願う国民世論との激しい矛盾に直面せざるを得ないでしょう。

草の根の力を強め、参院選での躍進を

日本共産党は、総選挙で掲げた公約の実現に全力をあげるとともに、広範な国民のみなさんと結びつく草の根の力を強め、来年7月の参議院選挙での躍進を期してがんばります。

12月市議会終わる

江南市議会12月定例会は、11月30日に開会、12月18日に閉会しました。日本共産党議員団は提案された補正予算、条例改正など議案すべてに賛成しました。

日本共産党議員団の主な一般質問



東よしき議員

● 保育行政における適正な職員体制と施設整備

非正規保育士の激増、経験年数が反映されない賃金実態など保育行政の問題点を質すとともに、米飯は炊飯器で自園炊飯するよう求めました。

● 各種まつり開催に伴う委託料について

菊まつりを支える菊曼友会の体制、市職員の関わり方に無理がないかなど、今後のあり方を質しました。

● 地産地消の推進と朝市マップの活用について

以前質問し作成された江南市内の「朝市マップ」の積極的な活用を求め、党議員団で視察した伊那グリーンファームを紹介、マップを生産者に配布することも提案しました。



● TPP参加について

TPP参加について市長の見解を質しました。

森ケイ子議員

● 原発事故への対応と防災対策

● 保育料の改定と保育行政について

愛知県が第3子以降の3歳未満児の保育料無料化事業を来年度から所得制限をもうけ、一部打ち切るのに伴い、江南市も見直すことを発表しました。少子化対策、子育て支援に反すると継続を求めました。

● 子育て支援について

産休明け保育の実施、空き店舗を活用した土日も利用できる子育て支援センターの増設を提案しました。

● 教育環境の整備について

小中学校への洋式トイレ設置、校舎のバリアフリー対策、業者によるにがり散布の実施などを求めました。

● 通学路の安全対策について

危険な通学路の点検、安全対策を求めました。

かけのまち子議員

● 要介護の人へ障害者控除認定書の送付を

介護者の経済的負担を軽減するため、近隣自治体の多くが実施している認定書の送付を求めました。

● 生活の足の確保を

大口町、扶桑町との共同運行によるコミュニティバスの可能性、いこまいCAR予約便の見直しの方向性、市民参加の議論の場の必要性を質しました。

● 子育て世代の負担軽減を

18歳以下の国保税均等割の軽減、就学援助の利用拡大、学校給食費の無料化検討、学年費など保護者負担の軽減を求めました。

● テニスコート予約申請の改善を

予約申請規定を定め、市民が公平に利用できるよう改善を求めました。



「生活保護の引き下げ止めて」請願を不採択

自公民3党が消費税増税と同時に強行した「社会保障制度改革推進法」により、生活保護基準の引き下げが狙われています。12月定例会に愛知自治体キャラバン実行委員会が提出した「生活保護基準の引き下げはしないことなど、国に意見提出をもとめる請願」を、議会は不採択としてしまいました。採択に賛成したのは、日本共産党議員団と社民議員の4人だけでした。

聴こえ支援の「磁気ループ」購入に予算

一般質問で導入を求めていた、高齢者の聴こえを支援するための「磁気ループ」を購入する予算が計上されました。県補助金を活用して購入します。携帯型で20mのループ、受信機(補聴器)2台も装備。貸出用として、集会や会議等の場で広く市民のみなさんに利用してもらおうのが目的としています。